

日本の変化し続ける労働環境における、デジタルスキルとその重要性

デジタルスキル、特にクラウド関連のスキルの重要性が急速に高まっている



デジタルスキルトレーニング後に従業員の生産性が向上したと回答した組織の割合



コロナ禍が始まって以来、業務でさらにデジタルスキルが必要になったと回答した労働者の割合

2025年までに職場で最も需要が高いデジタルスキルの上位5つのうち、クラウド関連スキルが2つを占める

2025年までに求められるデジタルスキルのトップ5

- #1 クラウドベースツールの活用
 - #2 サイバーセキュリティ
 - #3 テクニカルサポートやITサポート
 - #4 デジタルマーケティング
 - #5 コンピューティングネットワーク
- クラウド関連スキル

しかし、労働者は十分なスピードでトレーニングを受けられていない



将来のキャリア要件を満たすのに十分なスピードでデジタルスキルを習得している自信がないと答えた労働者の割合



今後1年間で、技術の進化に対応するデジタルスキルトレーニングが必要と見込まれる日本の労働者の数



デジタルスキルトレーニングに課題を抱えている労働者と組織の割合

労働者の将来の可能性を拓くために連携した取り組みが欠かせない



行政機関

雇用主が労働者にデジタルトレーニングの機会を提供できるよう資金的に援助



雇用主

業界が提供する無料のトレーニングコースを活用して従業員をスキルアップ



トレーニング事業者

テクノロジー業界と協力して、業界基準を満たすコースを開発



労働者

短期コースで少しずつ資格・認定を取得し、急を要するスキルギャップを軽減

出典：AlphaBeta（Access Partnershipグループ）＜アマゾン ウェブ サービス（AWS）からの委託＞「日本とAPACの変化し続ける労働環境におけるデジタルスキルとその重要性」、2022年